学生×企業　協創プロジェクト

セブンイレブンのSDGsに対する取り組みの認知度向上プロジェクト
Aチーム







1．なぜこの企業テーマを選んだのか

自分の生活に身近な“コンビニ”でできるSDGsに興味を持ったからです。

2．プロジェクト概要（現状、課題）

現状として、SDGsに対する取り組みへの認知度、関心が低いので、私たちのチームはそこが課題であると感じました。

3．プロジェクト結果

選んだテーマ

セブンイレブンのSDGsに対する取り組みの認知度向上

調べたこと・体験したこと

セブンイレブンが現在行っているSDGsへの取り組みは意外にも多く、それを私たち消費者が知らないという部分が課題であると感じ、実際に店舗を視察して、どういった表示が行われているのかを視察しました。

提案したアイデア

認知度向上を図るために、インパクトがありつつ、SDGsについても知ってもらうための情報を組み込んだＰＯＰの掲示。

右の画像は生成AIによって作成されましたが、実際に店舗に掲示したものは、すべて手書きで作成し、手作りだからこその味のあるPOPを作成しました。



※実際に作成したPOPのイメージ画像

４．プロジェクトを通じた気づき（現場でわかった課題）

一番難しかったと感じたのは、セブンイレブンが取り組んでいることを凝縮してPOPに組み込むことです。今回はスムージーの機械にもPOPをつけましたが、その際に、情報が多すぎても目をひかないので、いかにわかりやすく。かつ、お客さんにも見てもらえるかデザインを何通りも考えて創り出しました。

５．今後の展望

何事も知らないと、まず取り組めないと思うので、「知る」ということに意識を向けて買い物をしていきたいと思いました。私は普段から、POPなどをみつつ買い物をするので、今後もそれを続けていきたいと思いました。

6．【挑戦！】企業・地域への提案

認知度向上を図るためには、POPだけでは訴求力が低いと思うので、セブンイレブンのアプリを立ち上げたときに、すぐに目を引くようなSDGsに対する取り組み広告を打ち出したり、拡散力の高いSNS上で「＃セブンイレブンSDGsプロジェクト」などといったキャンペーンをすることを提案します。



